

# Book Review



## Dr. 弘岡に訊く臨床的ペリオ講座 スカンジナビアンアプローチの実践

弘岡秀明 編著 / Stefan Renvert・中原達郎・加藤 典 著

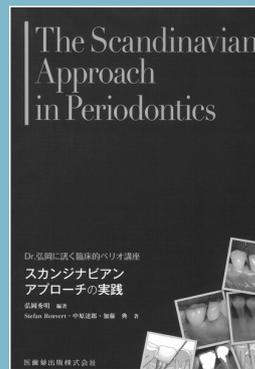
● ● ●

Reviewer

大月基弘 Motohiro Otsuki

(大阪府・DUO specialists dental clinic)

A4判, 416頁  
定価 16,500円  
医歯薬出版刊



2021年の末、なんとも装丁の美しい本が発刊され、その書体や色使い、そしてデザインに、私は惹かれました。

その本の名は“The Scandinavian Approach in Periodontics”。弘岡秀明先生が編著され、Stefan Renvert教授も共同執筆されたという本です。弘岡先生は、イエテボリ大学歯周病学科のポストグラデュエートコースの一期生で、Lindhe教授に自ら進言し、ポストグラデュエートコース設立を促したという逸話をもつ、私の大先輩にあたります。この度は、10年前に執筆された本を大幅に改定し、新しいエビデンスや治療技術の進歩も盛り込まれているとのこと。

歯周炎/インプラント周囲炎の臨床研究で著名な Giovanni Serino 先生の序説から始まり、スカンジナビアの歯周病学へ誘われていきます。本書はクリニカルクエスチョンを順序よく散りばめながら、正しい順番に歯周病/インプラント学を学んでいけるよう構成されています。そして、新旧織り交ぜた幅広いエビデンスを元に著者の独りよがりの文章にならないよう、また難

解になりすぎず多くの読者にとって親しみやすいよう丁寧に書かれています。

また臨床医にとって最も大切なパートだと思われる、組織学、病因論、検査といったベーシックな部分の意味や意義をしっかりと解説した後にクリニカルなパートに入っていきます。本書が読みやすくできている最大の理由として、豊富な写真、図ならびに長期経過を伴った臨床例がしっかりと文章の理解をサポートしていることでしょう。

やはり必見なのは、古典だがゴールドスタンダードのエビデンスに裏付けられた、王道治療の良好な長期予後が示されていることです。患者に対し、無駄を削ぎ落とした有益な治療を過不足なく行う姿勢は、スカンジナビアンデンティストリーにおいて共通したフィロソフィーなのです。20年以上経過したいくつもの詳説された症例をご覧いただき、無駄のないソリッドな治療の良さを実感していただければと思います。

本書を読み通すなかで感じたことは、クリニカルペリオドントロジーがくまなく網羅されていて、一冊読み通

すことでかなりの勉強になること、そして歴史的なエビデンスから現在の新しい情報まで順序よく配置されていることにより、壮大な物語を読んでいるような気持ちになることです。これは、私が同じイエテボリ大学歯周病科で学んで、同様な教育を受けたこともあるでしょうが、歯周病に精通したい初学者の方、さまざまな歯周病学の本を読み通して、臨床経験値も高めてこられた中上級者の方が読まれても、文章の後ろに見え隠れるスウェーデンの臨床に対する真摯な態度と姿勢を感じとれるのではないのでしょうか。400ページを超える大著ですが、歯周病治療のレベルを一段引き上げたい先生にとって長く使える必携書となってくれることでしょう。

最後に、お読みになれる先生は、医院の歯科衛生士と一緒に輪読されることをおすすめします。先生だけ知識が豊富でも医院力は上がりません。ぜひ一緒に思想や考えを共有してください。